

平成 30 年度 事業計画書

平成 30 年 4 月 1 日から

平成 31 年 3 月 31 日まで

学校法人クラレット学院

認定こども園 うみのほし幼稚園

法人の概要

名称 学校法人クラレット学院(昭和 60 年 2 月 1 日法人設立)
 代表者 理事長 フェリックス・マルティネス
 住所 大阪市旭区太子橋 1 丁目 1 番 27 号
 電話 06-6951-2633
 F A X 06-6955-6988

設置する学校

住所 大阪市旭区太子橋 1 丁目 1 番 27 号
 名称 認定こども園あけのほし幼稚園
 住所 大阪府枚方市岡南町 3 番 46 号
 名称 認定こども園うみのほし幼稚園

役員 理事 6 名
 監事 2 名

評議員 13 名
 理事会 3 回開催
 評議員会 2 回開催

1. 事業計画

＜教育方針＞

一人ひとりの子どもが神様から愛されていることに気付き、人との関わりを大切に、その子らしさを輝かせて生きる。

＜教育内容＞

子どもが、友達との関わりの中で、人と共にあることを喜び、心を通わせて一つのことを成し遂げていく喜びを感じることができるよう。そして、人の痛みや苦しみに心を寄せ、自分ができることを実行し、その痛みや苦しみを分かち合いたいと思えるような心ある人間が育つように、いろいろな体験の場を設け、素材を準備して、子どもたちの意欲を自習的に引き出せる環境を整える。

＜園児・職員人数＞

4 月 1 日現在

年度	1 歳児		2 歳児		3 歳児		4 歳児		5 歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			2	20	4	100	4	140	3	105	13	365
28			2	20	4	99	4	102	3	103	13	324
29			2	20	4	91	3	96	3	102	12	309
定員	2	20	1	20	4	100	3	100	3	100	13	340
30	2	20	1	20	4	100	3	92	3	94	13	326

	教員	教員 パート	教員 派遣	職員	職員 パート	職員 派遣	看護師	合計
29年度末	20	24	2	2	3	2	1	54
30年度初	22	24	1	2	3	2	1	55

* 園長・副園長は含まない

《保育時間》

1号認定	月～金曜日	10:00～14:00
2号・3号認定	月～土曜日	7:00～18:00(保育短時間 9:00～17:00)
延長保育	月～土曜日	18:00～19:00

《納付金》

1号・2号・3号共通

- (1) 保育料.....園児が居住する市町村が定める額とする
- (2) 日本スポーツ振興センター(ケガ等の保険) 200円
- (3) 父母の会費.....600円(在園弟妹 400円)

1号認定

- (1) 環境充実費(上乗せ徴収) 2,250円(年額 27,000円)
- (2) 園費(実費徴収) 4,200円(年額 50,400円)
(年長のみ 4,600円、年額 55,200円)
内訳: 教材・行事 950円(年長 1,350円)
給食 3,250円(自園給食週 5回)
- (3) バス送迎費..... 3,000円(税別・利用者のみ、年額36,000円)
- (4) 入園時
入園予約金.....30,000円
施設協力費(上乗せ徴収).....30,000円
バス協力費.....13,000円(税込、利用者のみ)

2号認定

- (1) 給食費(実費徴収)2,000円(年額 24,000円)
- (2) バス送迎費.....3,500円(年額 42,000円・税別・利用者のみ)
※3号認定利用できません
※長期休園等運行なし
※入園時 バス協力費 13,000円(税込、利用者のみ)

《預かり保育》

通常保育日 月～金曜日

早朝 午前 7:00 から 1回 100円

保育終了後、～午後 5:00 1時間 100円 レギュラー券 3割引

午後 5:00～7:00 1時間 200円

長期休業日 月～金曜日 午前 7:00 分～午後 5:00

一日 1,000円(給食含)レギュラー券 3.5割引 午前 400円

午後 5:00 以降のお迎え(最終 7:00 まで)1,300円

当日券 800円

《未就園児 ーてんし組ー》

子育て支援プログラム。2歳児の親子教室。18組まで。

3クラス。月・火・金曜日 午前 9:30～11:30。

1学期 6,300円(7回)

2学期 5,400円((6回)

3学期 3,600円(4回)

《地域の子育て支援》

在園児でない、地域の子育て家庭のため。無料。

- ① 「にこにこひろば」
親子が相好の交流を行う場。園の保育教諭を交えて子育てについての相談や情報交換などができる。
対象 0才(まだ歩けない子ども)。親子10組まで。
日時 毎月第1月曜日 10:30~11:30
- ② 「よちよちひろば」
親子が相好の交流を行う場所を提供し、園の保育教諭を交えて子育てについての相談や情報交換などができる。
対象 1才(ちょっと歩けるようになった子ども)。親子10組まで。
日時 毎月第3月曜日 10:30~11:30
- ③ 「わくわくひろば」
親子が相好の交流を行う場所を提供し、園の保育教諭を交えて子育てについての相談や情報交換などができる。
対象 2・3才。親子10組まで。
日時 毎月第2・4月曜日 10:30~11:30
- ④ 「育児相談」と「健康衛生相談」
未就園児を抱える保護者の育児・子育てに対する不安解決を図るため、保育教諭が個別に相談に応じ、保護者が子育ての喜びが感じられるように支援する。または、子どもの健康や衛生に対し、看護師が個別に相談に応じます。子ども達が毎日を安全に過ごせるよう、こころや身体の成長や発達、病気の早期発見、食事などに関して支援のお手伝いをいたします。
日時 毎週水曜日 9:30~11:00
- ⑤ 絵本の貸し出し
お家でも子どもに絵本の読み聞かせができるように園の絵本の無料貸し出し。

《行事実施状況》

- 4月 入園式、進級式、クラス懇談会、
- 5月 子どもの日祝福式、遠足、マリア様の日、グループ参観
- 6月 内科検診、歯科検診、イチゴ狩り(中)、プール開き、体育指導参観(長・中)
- 7月 七夕、お泊り保育(長)、個人懇談、ほしのご祭り
- 9月 乳児の運動会
- 10月 運動会、芋掘り(長)、遠足、人形劇鑑賞
- 11月 父親参観、七五三祝福式、内科検診、歯科検診
- 12月 イエス様のお誕生日会、サンタの日、キャンドルサービス(長)、卒園生の集い
- 2月 生活発表会、小学校訪問(長)、お別れ遠足(長)、個人懇談、保育参観日
- 3月 卒園感謝の祈り(長)、お別れ会、卒園式、終園感謝の祈り

《施設関係》

園地面積 2,516㎡ 運動場面積 1,595㎡

認定こども園に移行をしてから4年目になり、前年度9月から受け入れがスタートした1才児の15名でしたが、今年度は1歳児の受け入れは4月からの20になります。このようなことで幼保連携型認定こども園に段階的に変わっていく過程が終了し、ある意味で、機能的に一人前の認定こども園になります。段階的なプロセスを認めてくださった枚方市に感謝します。

今年度施設と関係する大きな修繕や工事の予定はありませんが、乳児が増えて40名になり、園庭で安心して遊べる固定遊具の購入を考えています。

また、同じように、2・3号認定の子どもが100名になり、1号認定で預かり保育に夕方まで残る子供が増え、車での迎えが多くなりました。園には駐車場がないため、近所迷惑になっている状況があります。3～5台が駐車できるスペースを探する必要があります。

《教育・保育内容》

前年度の自己評価や保護者のアンケートの結果と園の実態を踏まえた上で本年度の教育目標を次のように決めました。

① 「こころの中に…」

子どもが自分のいろんな気持ちを知り、そして人に受けとめていただく経験を基に、人の気持ちに気づくように導くこと。その働きをしている一人ひとりの心の中にきっと神様を見つける事でしょう。

② 「楽しいことをみい～つけた！！」

先生が様々な計画を立てる時に楽しい雰囲気の中で行われるよう心がけ、子どもが“やってみよう”という気持ちを起こさせること。楽しい気持ちがあると成長につながっていく。そのようなことを出発点にして、さらに興味を他の事にも広がっていくように導く。

《事業概要》

1号・2号認定の子ども(幼児)が286名、3号認定の子ども(乳児)が40名のスタートとなる。

また、2020年を目途に幼児教育の無償化(308,000円まで)が予定通り実現されたら、保護者負担が減り、園の安定した運営につながるように検討したい。

保育教諭の確保難が常態化している中で、大幅な処遇改善が進められていることで保育園/認定こども園志向がさらに強くなると予想できますが、認定こども園では、保護者対応や、特別支援児の増加等のため、とても厳しい状況です。教員募集問題の解決に様々な対策(経済面、待遇面など)を可能な限り取り組んでいきます。

予算に関して、教育活動収入計が287,475千円、教育活動支出計が300,900千円、となり、教育活動収支差額13,424千円のマイナス。また、教育活動外収支差額が10千円のプラスなので、経常収支差額は13,414千円のマイナスとなります。その主な要因は減価償却額の27,000千円です。翌年度繰り越し支払資金(年度末資金残高)一年前と比べたら11,465千円のプラスであることから、資金繰りは問題ありません。

平成31年度の園児募集については、1号認定子ども80名の確保を目指す。